

# (論文要旨)

博士論文

行動結果面接による質的調査からの IT ソフトウェア技術者  
のコンピテンシー解明

学籍番号：201883 氏名：山田 政樹

指導教員名：金 鎔基 先生

2022 年度提出

## 論文要旨

現在の企業は人的資源管理として従来の機能主義人事から戦略人事へシフトしている。戦略人事の中も人材は戦略的資源となっており、企業にとって人材開発は必要不可欠となっている。昨今では新しい能力主義としてコンピテンシーの概念が重要視されてきている。企業理念と社員の行動特性を結びつけたコンピテンシーをベースとし、人事・評価制度を導入することにより、企業の戦略と連動性が強くなり、戦略達成にむけた社員の行動が重視されている。経済産業省(2010)の第4次産業革命の人材育成として産業界が求める人材として、新しいスキルやコンピテンシーを装備するための人材育成・教育エコシステムを、国を挙げて構築する必要が不可欠であるとされている。我が国では人材のスキルと調達、育成の方針を明確とすることができる具体的な指針として、経済産業省が2002年にITスキル標準(IT Skill Standard (ITSS))を策定した。その後、2004年に日本のIT国家戦略を技術面および人材面から支えるために設立された独立行政法人情報処理推進機構(Information-technology Promotion Agency (IPA))がITスキル標準の改訂をはじめとしたスキル標準への取り組みを行っている。

本論文が議論とする対象は高い業績を上げるITソフトウェア技術者とそうではないITソフトウェア技術者である。本論文の問題意識としては高い業績を上げるITソフトウェア技術者がどのようなことを考え、判断し、行動しているのか、それを今後のITソフトウェア技術者育成にどのように生かしているのか、それを今後のITソフトウェア技術者育成にどのように生かしているのかである。本論文では個人の能力概念の一つであるコンピテンシーに着目し、高い業績を上げるITソフトウェア技術者とそうではないITソフトウェア技術者を比較し、高い業績を上げるITソフトウェア技術者のコンピテンシーなのかを明らかとする。

本論文の研究・クエスチョンは、ITソフトウェア技術者が高い業績を上げるためには、どのようなコンピテンシーが必要かである。高い業績を上げるITソフトウェア技術者になることを目標とすること自体は簡単ではあるが、実

際に高い業績を上げる IT ソフトウェア技術者になることは難しい。IT ソフトウェア技術者のプログラミングやプログラム設計など技術的なタスクはもちろんだが、他にも IT ソフトウェア開発・導入プロジェクトを始めとしたプロジェクト内で発生する多くの課題を解決させなければならない。そのためには技術的なスキルのような形式知だけではなく、コンピテンシーに含まれる言語化が難しい暗黙知も重要となる。本論文は IT ソフトウェア技術者を対象として、IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーを導き出すの理論的および実証的検討を行い、コンピテンシー研究に新たな知見を付け加えたいと考えている。

本研究全体の研究課題としては IT ソフトウェア技術者における高い業績を上げる IT ソフトウェア技術者とそうではない IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーの違いを明らかにすることにある。本研究では二の研究課題を設定している。一つ目が理論研究課題である。理論研究課題では IT スキル標準とコンピテンシー概念の違いを明らかとすることを目的として研究を行った。IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーを導き出す前段階として、一般的に必要とされている IT スキルセットとコンピテンシー概念について整理し、それらの違いを明らかとする。そのためには、経済産業省および独立行政法人情報処理推進機構が策定した IT スキルセットである IT スキル標準とコンピテンシー概念の比較を行い、違いを明らかとした。二つ目は実証研究課題である。実証研究課題は IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーを明らかとすることを目的として行った。IT ソフトウェア技術者における高い業績を上げる IT ソフトウェア技術者とそうではない IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーの違いから、IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーを導き出した。分析手法としては、分析対象は同じ会社に属していたことのある IT ソフトウェア技術者 6 名に半構造化インタビューを行い、質的調査の観点から分析を行った。行動結果面接によるインタビューの結果から、高い業績を上げる IT ソフトウェア技術者とそうではない IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーを比較しコンピテンシーを導き出している。最後に本研究結果の検証も行った。近年発表された IT 人材に関する先行研究との比較検証を行っている。この比較検証により、本研究で

明らかとなった IT ソフトウェア技術者のコンピテンシーの妥当性を検証している。

本研究は IT ソフトウェア技術者の研究であるとともに、コンピテンシー研究でもある。IT ソフトウェア技術者の研究としては、IT スキル標準とコンピテンシー概念を比較することにより、IT スキル標準においてコンピテンシー概念がどの程度含まれているの明らかとなった。これにより、今後の IT スキル標準開発において、コンピテンシー概念を取り入れることを考えることの助けとなったのではないかと考える。コンピテンシー研究としては、今までの研究ではコンピテンシー概念の必要性について言及した研究は多いものの、実証研究をしてコンピテンシーを導き出した研究は少なかった。また、IT ソフトウェア技術者のみを対象とした研究も見受けられないことから本研究での研究結果は今後のコンピテンシー研究を推し進めるうえで寄与できる内容が得られたのではないかと考える。